

体系、事業手法および財源確保等の課題解決に時間を要するものと考えます。

## 森林整備に係る雇用は

**問** 世界的伐採規制および海外からの木材の輸入の減少により、道産材が注目されはじめ森林整備を促進させて、地場産業の活性化を図り、雇用の拡大する事を考える時ではないか。



森林整備の樹海付近

**答** 木材の輸入の減少と高齢化による森林作業従事者の後継者不足など厳しい状況ですが、道内では、カラマツなどの人工林は、利用の段階に達しており、地場産を地元で使う地材地消を積極的に進めて、活性化に繋がると考える。

## 高齢者の住みづくりを

**問** 高齢化社会での住居や施設を民間活力で、市街地に建設を推進してはと考える。医療機関へのネットワーク、タウンモビリティを活用して、中心市街地の活性化を推進させて街づくり、住みづくりの都市計画の考えは。

**答** 市街地における高齢者の住みづくり、福祉施設づくりは、相互扶助や生きがい、地域コミュニティ等が包含された施設として、必要であれば

## 火葬場の新設

**問** 富良野市広域連合協議会の進める中では、お互い必要としている火葬場の共同施設建設をどのような考えを持っているのか。

**答** 富良野広域連合準備委員会の火葬場専門部会の中で検証しており、今後の検討課題であり、5市町村全体の意見をまとめた部会の報告を尊重して委員会の中で判断する。

## 広瀬 寛人

〔無所属〕

### 駅前広場工事期間中の車両誘導対策は

**問** 5月1日から12月20日まで行われている駅前広場工事期間中の交通規制は、市民への周知や観光客への案内が不足している混乱を招いていると考える。駅前乗降を目的とする方への車両誘導、観光案内所利用者への駐車場所、観光客への駐車案内、東4

と認識しており、今後の課題として受け止めて行く。

条通り交差点の安全対策、障害者用の駐車場確保について対策は如何に。



駅前広場工事

**答** 市民並びに観光客の安全確保から、インフォメーシ

ョンセンターなどへの誘導看板並びに誘導路の確保を施す。観光案内所を利用目的とする方の駐車場所については工事行程で変動するが、可能な限り臨時駐車場を確保する。

駅周辺回遊のため駐車場を探す方への案内は、案内看板により周辺4カ所の駐車場へ誘導する。東4条通りの交差点安全対策として仮設の一旦停止標識、交差点手前及び一定区間に減速、注意喚起の標識を設置して安全確保を図る。障害者用の駐車スペース対策は、工事期間中の安全確保が難しい状況にあり、駅前北公園等の駐車場を利用して頂きたい。

## バランスシート改革は

**問** 自治体の財政破綻を招かないように、一般会計と公営企業会計、公社、第3セクターまで対象を拡大した連結バランスシートにより、自治体の健全性を評価し早期の再生を促す再建制度が始まる予定とされている。また、昨年5月に総務省が精度を上げるために、改善された報告書方式のバランスシートを導入検討される自治体が増えてきたが、

富良野市の取り組みは。

**答** 市民の視点から、より詳しくわかりやすいバランスシートの作成を求める意見を伺っているが、新たな公会計制度の導入促進には、専門知識や事務処理負担を要する資産評価方法など諸課題もあり将来的に検討する。連結バランスシートも市全体の財政状況を把握し判断する上で有効な資料と考えるが、当面は市の会計に限定した連結バランスシートの研究を進めたいと考える。

## 佐々木 優

〔日本共産党〕

### 住民税増税が暮らしを直撃

**問** 定率減税の廃止と税源委譲により大増税。特に、高齢者は昨年に続く増税。関連する国保税や介護保険料は来年も、さらに負担増となる。生きる権利を奪うものである。暮らし・地域経済への影響は。

**答** 税負担は、基本的には変わらない。定率減税・老年者非課税制度の廃止により税負